

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月14日

上場会社名 技研ホールディングス株式会社  
 コード番号 1443 URL <http://www.giken-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 ペジ  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部リーダー (氏名) 高橋 基

TEL 03-6276-9393

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,979	19.2	96	69.5	98	70.9	45	62.2
2020年3月期第1四半期	2,450	11.4	315	193.6	337	184.1	119	57.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 49百万円 ( 53.9%) 2020年3月期第1四半期 107百万円 (52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.77	
2020年3月期第1四半期	7.35	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,987	8,174	62.9
2020年3月期	12,745	8,140	63.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,174百万円 2020年3月期 8,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		1.00	1.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	14.6	400	29.3	400	32.1	300	2.1	18.48
通期	9,600	4.1	1,080	8.7	1,080	10.4	800	21.9	49.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 有  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	16,237,977 株	2020年3月期	16,237,977 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,407 株	2020年3月期	1,299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	16,236,647 株	2020年3月期1Q	16,237,154 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料「1.当四半期決算に関する定性的情報」の各項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事項) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の下振れを背景に内外需要が急減し、日本国内においても感染者数の増加による社会経済活動の制限や活動自粛による消費低迷もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する建設関連業界におきましては、国土強靱化対策に附随する公共建設投資は堅調ながらも、民間投資においては実体経済の落ち込みに伴う減速が懸念されており、新型コロナウイルスが与える今後の影響に注視する必要があります。

このような中、当社グループは、社会資本整備の一翼を担う企業集団として列島各地で頻発する自然災害への復旧支援に尽力すべく、事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は前年同期比11.5%増の2,569百万円となったものの、売上高につきましては、完工の遅れが影響し、前年同期比19.2%減の1,979百万円、営業利益は利益率の高い型枠貸与事業の進捗の遅れ並びに完工の遅れもあり、前年同期比69.5%減の96百万円、経常利益は前年同期比70.9%減の98百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比62.2%減の45百万円となりました。

当社グループの前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間(年度)別	前期繰越受注高 (千円)	受注高 (千円)	売上高 (千円)	次期繰越高 (千円)
前第1四半期連結累計期間	5,260,917	2,305,248	2,450,152	5,116,014
当第1四半期連結累計期間	3,497,787	2,569,905	1,979,473	4,088,219

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりであります。

## (土木関連事業)

受注高は前年同期比48.1%増の694百万円、売上高は前年同期比7.9%減の603百万円、セグメント損益は前年同期比40.0%減の96百万円の利益となりました。

## (建築関連事業)

受注高は前年同期比20.6%増の1,164百万円、売上高は前年同期比37.0%減の821百万円、セグメント損益は64.5%減の68百万円の利益となりました。

## (型枠貸与関連事業)

受注高は前年同期比18.4%減の697百万円、売上高は前年同期比13.8%増の535百万円、セグメント損益は前年同期比77.2%減の10百万円の利益となりました。

## (その他)

受注高は前年同期比16.9%減の12百万円、売上高は前年同期比9.8%減の19百万円、セグメント損益は前年同期比40.4%減の6百万円の利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、241百万円増加し12,987百万円となりました。増加した主な要因は、たな卸資産の増加及び前連結会計年度末に計上された営業債権の回収により生じた現金預金の増加等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、208百万円増加し4,813百万円となりました。増加した主な要因は、短期借入金の増加等であります。

純資産は、配当による剰余金の減少が16百万円、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が45百万円であったこと等から、前連結会計年度末に比べ、33百万円増加し8,174百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.0ポイント減少し62.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結業績予想（累計期間）及び通期連結業績予想につきましては、現時点では2020年5月22日に開示いたしました、2021年3月期の第2四半期連結業績予想（累計期間）及び通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想の動向につきましては、引き続き精査を進めてまいります。受注動向、事業環境、繰延税金資産の回収可能性等を慎重に見極めつつ業績予想に修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。なお、これらの業績予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	3,630,410	4,417,330
受取手形・完成工事未収入金等	3,779,239	2,869,575
有価証券	364,249	361,647
たな卸資産	116,220	393,207
その他	74,544	157,047
貸倒引当金	△22,631	△20,547
流動資産合計	7,942,033	8,178,262
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,950,685	2,950,685
その他(純額)	1,399,803	1,373,422
有形固定資産合計	4,350,488	4,324,107
無形固定資産		
その他	98,603	97,261
無形固定資産合計	98,603	97,261
投資その他の資産		
投資有価証券	150,086	164,637
関係会社株式	-	30,000
その他	256,663	245,461
貸倒引当金	△52,550	△52,510
投資その他の資産合計	354,199	387,588
固定資産合計	4,803,291	4,808,957
資産合計	12,745,324	12,987,220
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,277,003	2,214,787
短期借入金	537,678	837,678
1年内返済予定の長期借入金	446,896	413,452
未払法人税等	336,051	381,602
未成工事受入金	47,596	44,510
引当金	72,536	98,299
その他	399,922	391,253
流動負債合計	4,117,684	4,381,584
固定負債		
長期借入金	317,769	290,080
繰延税金負債	27,471	27,320
退職給付に係る負債	95,491	74,438
その他	46,336	39,737
固定負債合計	487,068	431,576
負債合計	4,604,753	4,813,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,840	1,473,840
利益剰余金	5,522,406	5,551,204
自己株式	△349	△388
株主資本合計	8,115,898	8,144,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,513	20,445
退職給付に係る調整累計額	6,158	8,956
その他の包括利益累計額合計	24,672	29,401
純資産合計	8,140,570	8,174,058
負債純資産合計	12,745,324	12,987,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,450,152	1,979,473
売上原価	1,916,287	1,665,428
売上総利益	533,864	314,045
販売費及び一般管理費	218,192	217,906
営業利益	315,671	96,138
営業外収益		
受取利息	1,272	643
受取配当金	6,168	3,946
貸倒引当金戻入額	181	1,576
保険解約返戻金	19,184	-
その他	479	681
営業外収益合計	27,284	6,848
営業外費用		
支払利息	3,045	4,869
為替差損	1,972	-
その他	520	1
営業外費用合計	5,537	4,870
経常利益	337,419	98,117
特別損失		
固定資産除売却損	277	3
減損損失	75,731	-
特別損失合計	76,008	3
税金等調整前四半期純利益	261,410	98,114
法人税、住民税及び事業税	143,140	46,366
法人税等調整額	△992	6,712
法人税等合計	142,148	53,079
四半期純利益	119,262	45,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,262	45,034



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	119,262	45,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,920	1,931
退職給付に係る調整額	△397	2,797
その他の包括利益合計	△11,318	4,729
四半期包括利益	107,943	49,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,943	49,763
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数の変更)

当社は退職給付に係る会計処理の数理計算上の差異の費用処理年数について、従来、従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数として10年で費用処理しておりましたが、平均残存勤務期間がこれを下回ったため、当第1四半期連結会計期間の期首から費用処理年数を5年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計機関の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12,441千円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がりや収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	654,769	1,303,069	470,429	2,428,267	21,884	-	2,450,152
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	654,769	1,303,069	470,429	2,428,267	21,884	-	2,450,152
セグメント利益	161,439	192,496	45,286	399,221	10,949	△94,499	315,671

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△94,499千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

建築関連事業において、のれんの減損損失75,731千円を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	603,103	821,168	535,471	1,959,743	19,730	-	1,979,473
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	603,103	821,168	535,471	1,959,743	19,730	-	1,979,473
セグメント利益	96,847	68,347	10,311	175,506	6,525	△85,893	96,138

(注) 1. その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△85,893千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。